拓水

題字は　県漁連三浦会長

10月号

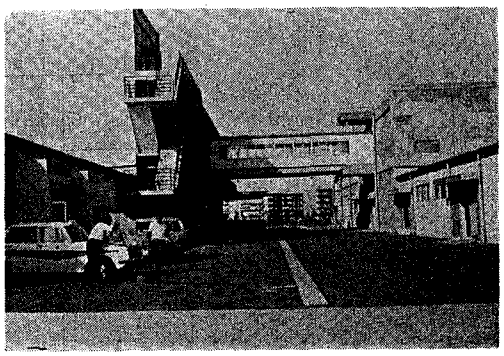
No. 169

発行所
兵庫県漁業協同組合連合会
兵庫県水産業改良普及協会
神戸市兵庫区新在家町 123
発行人　三浦清太郎
TEL (67) 6685・(68) 6954
編集　拓水編集委員会
発行日　毎月 30日
一部10円
昭和32年10月18日
第3種郵便物認可

# 第二次沿岸漁業構造改善対策

## 事業の基本構想（内海地域の漁業動向）

前号に引続き本県第二次沿岸漁業構造改善対策事業の基本構想の背景となった内海地域の漁業動向の概要は次のとおりである。



千葉県連ノリ事業所（関連記事3面）

内海地域の生産量を階層別にその構成比および増減の関係をみると次表(イ)のとおりで、生産量は地域全体においては、増加の傾向をみせているが、内容的には低位階層から上位階層へと生産のウエイトは移行していることが明らかである。

漁業経営体についてその動向をみると四十三年度四八八一体で三十八年度より三九五体（七・五%）の減少となっているが、これを生産量の場合（前号記載）と同様に漁業主業と臨海工業の二地帯に分けて、階層別の動向をみると、主業地帯の経営体数は全体で三・七%の減にとどまり、しかも減少の主要因は、無動力0～3トンの低位階層の脱落減少によるもので、明らかに経営体の構成が低位階層から上位階層へと移行していることがうかがえる。

これに対し臨海工業地帯は地域全体で一九・五%（主業地帯減少率の五倍）の減少で、しかも減少がすべての経営階層体に亘っていることが主業地帯の質的変化の伴う経営体の減少と異なった様相を呈しているものといえる。

さらに経営体の動向を主要漁業別にみると次のグラフに示すような状況をみせ、主業地帯の主要漁業は込瀬網を除くほか、船曳、浅海養殖、刺網、まき網が増加し、底曳、釣延縄は安定した動向をみせている。

臨海工業地帯は船曳漁業経営体が増加しているが他の主要漁業は全般に減少衰退の傾向をみせている。

(イ)

| 年次 | 生産量 | 階層別生産量構成比 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 無動力 | 0～3トン | 3～5トン | 5～10トン | 10～トン |
| 38 | 100%（63,017トン） | 4% | 30% | 58% | 5% | 3% |
| 43 | 100%（80,429トン） | 2 | 21 | 62 | 6 | 9 |
| 43/38 | 増減 | △30% | △8% | 35% | 62% | 258% |

従って、漁業勢力の現状も、主業地帯は内海の代表的漁業といえる、釣延縄、底曳網漁業経営体が全経営体の七十四%を占め名実ともに主業漁業の位置を守っている。

臨海工業地帯は、釣延縄底曳漁業経営体は三十七%浅海養殖（のり）経営体三十二%となり、釣延縄、底曳漁業の位置は低い。

次いで漁業就業者の動向（漁業センサスによる）をみると、内海地域は八、四八九人（うち男子七、九六〇人）で三十八年度より一六一九人（十六%）減少しまたこれを男子の年令別構成と動向についてみると特に30才未満の若年労働力の減少傾向が強く三十八年度の三十六%減となり漁業振興上の問題点となっている。

しかし、三十才～五十才の就業者は僅かであるが増加（二%）の傾向をみせていることは漁業就業への回帰と考えられ期待されるものである。

また就業者の年間減少率（水産課調査、三十六年～四十一年）からみると、三十六年度には一・一%と緩和され、家島、御津町の漁業主業地区においては既に漁業就業者が増加の現象があらわれており、今後に明るい期待がもたれている。

漁業就業者の減少を漁業主業・臨海工業の二地帯に分けてみると、三十八年度から四十三年度の減少率は両者一五・八%・一六・八%と殆ど変らない数値をみせ生産量、経営体における両者の動向とは異なった傾向をみせている。

これは臨海工業地帯が漁場環境の変化等から漁船漁業が衰退し、のり養殖業の比重が高くなったこと、また、釣延縄漁業等の主力経営体の大巾減少等が、生産量、経営体の動向において主業地帯と格差を生じさせ、一方のり養殖業の維持のため、就業者が確保されたことが主業地帯就業者減少と大差を生じない結果となったものと推測される。

しかし、臨海工業地帯の抵津東部地区は漁業の全面補償が約束されており、今後大巾な就業者の減少が進むものと考えられる。

なお漁業所得についてみると次表(ロ)のとおり内海地域の経営体当り生産所得の伸び率は高いが特に主業地帯の伸びは臨海工業地帯に比して極めて高い数値をみせている。

(ロ)経営体当り生産所得（総合平均）

| 年次 | 内海地域 | 主業地帯 | 臨海地帯 |
|---|---|---|---|
| 38 | 千円 569 | 千円 559 | 千円 598 |
| 43 | 1,117 | 1,200 | 808 |
| 伸び率 43/38 | 1.96 | 2.14 | 1.35 |

また、内海の主要階層についてみると次表(ハ)のとおり三～五トン階層が所得額および伸び率が最も高く、次いで、のり養殖経営体となっている。

これに反して低位階層の所得額及び伸びは低く、今後この階層の振興対策が内海漁業の構造改善における主要問題である。（続く）

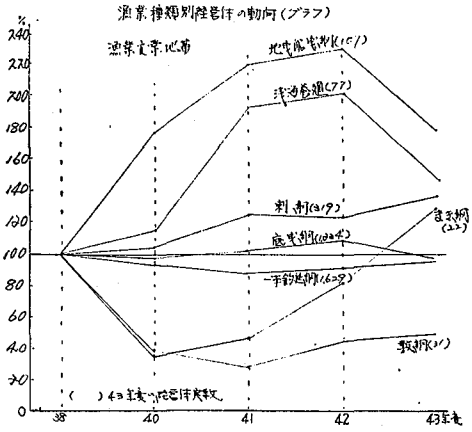
水産課振興係

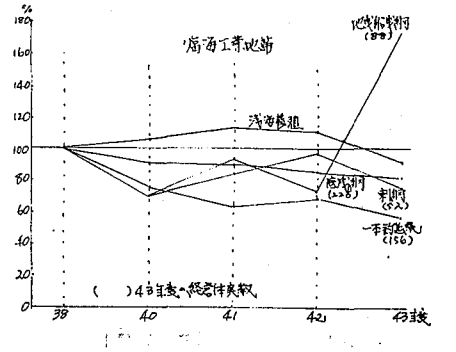
(ハ)（内海全域）

主要階層別経営体当り生産所得

| 年次 | 0～3トン | 3～5トン | のり養殖体 |
|---|---|---|---|
| 38 | 千円 383 | 千円 1,146 | 千円 1,138 |
| 43 | 587 | 2,229 | 1,710 |
| 伸び率 43/38 | 1.53 | 1.94 | 1.50 |

漁業種類別経営体の動向（グラフ）




## 公害絶滅全国漁民総決起大会

### ―海と川の破壊に怒りと抗議を―

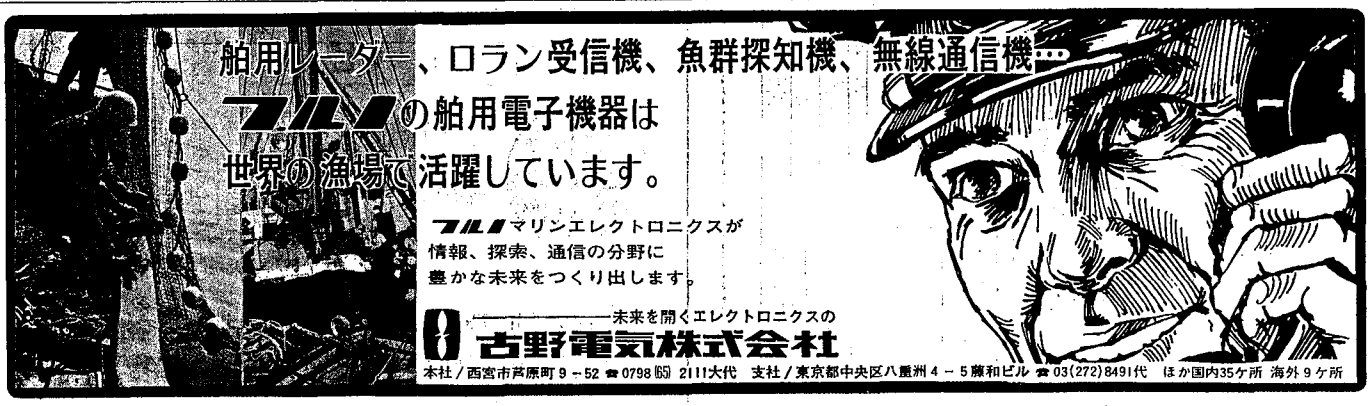
### 十月八日東京神田、共立講堂において開催される。

足尾銅山鉱毒事件、水俣水銀中毒事件、本洲製紙江戸川事件、阿賀野川水銀中毒事件、等々に代表されるように我々漁民は公害との闘いの歴史であった。

われわれは、これまでに水質汚濁防止法の制定など公害を防止するための制度の確立、改善のため、日夜運動を展開し、その抜本的対策の確立を要望しつづけて来たにもかかわらず政府は経済発展との調和に名をかりて常にこれが対策は徹底を欠き、一般国民もまたこれに関心を示さず、常にわれわれの悲願はふみにじられて今日に至った。

このため公害は激化の一途をたどり、今や単に漁業の観点からだけでなく、広く国民の健康と生活を脅かす重大な事態の招来として今日最大の課題となってきた。

いまこそわれわれは、かってわれわれが主張してきたことの正しさを確信し、公害闘争の前衛として海と川を破壊するあらゆる汚染源に対して敢重抗議するとともに、その責任を追及し、これまでわれわれの要望を放置してきた政府ならびに国会に対して、抜本的対策の確立を要求するため本公害絶滅全国漁民総決起大会が開催されたものである。



# 9月の漁況と海況（内海側）

## ◎海　況

1～2日大阪湾，3～4日播磨灘で実施した海洋観測結果によると大阪湾北東域で表面気温27°～28°C，10m層26°C内外，底層25°C内外を示して平年並。中南部海域表中層26°C～27°C，底層26°C内外で上下水温差も殆んどなく平年並かやや高目に推移した。また播磨灘東部海域各層域各層共25°C～26°C，その他の海域表層27°C内外，10m層26°C～27°Cで平年比－1.0°C内外，底層で25°C～26°Cで平年並，一方19日に実施した紀伊水道北部海域では表，中層全域26°C～27°C，底層25°C～26°Cを示し前月に引続き地域的大差はみられないが平年比で逆に各層共1°C～2°C高目に経過した。

## ◉漁　況

前月に引続き活況を呈しておった大阪湾の上ノ瀬，沖ノ瀬，又播磨灘の鹿ノ瀬，室津ノ瀬周辺漁場でのタチウオ曳縄漁は中旬頃より低調となり漁場も淡路南部に移り現在沼島周辺海域で活況を呈している。また各地の秋サワラ漁は今月早々より好漁が持続し，特に上ノ瀬鹿ノ瀬周辺漁場ではここ数年来の釣獲を示しており，ハマチ曳縄にこれ等サワラ，ハマチ曳縄釣も比較的好調で大阪湾播磨灘で低調となったタチ魚曳縄釣より転換する漁船が目立っている。一方各地の小型底曳は前月に引続きエビ類の入網が目立っているが，タコアナゴなどが減少，又ノリ網張込準備などでやや低調となった。

## ◉各　地

**神戸西部**　小型底曳網1日1隻，エビ20キロK当り 900円，アシアカエビ30～40尾，1尾80円，タコ3キロK当り700円，アナゴ2～3キロK当り 200～300円，メイタカレイ4～5キロK当り 1,800円12隻。ハマチ曳縄1日1隻30～40尾，目廻500～600g 1尾200～250円，30隻。サワラ曳縄1日1隻10～15尾，目廻2～2.5キロK当り800～1,200円30隻。

**岩　屋**　エビ漕網1日1隻60～70キロK当り（大）550～600円（中）200～230円（小）60～80円45隻，サワラ曳縄1日1隻10尾内外K当り850～900円40隻。アジ一本釣1日1隻200尾内外1尾70～100円50隻。タコ壺縄1日1隻30～40キロK当り600円4隻。ハマチ五智網1日1隻200～300尾10隻。タイ五智網1日1隻7～8尾目廻2K内外K当り 5,000円10隻。八田網1日1統豆アジ400～500キロ3統，キス刺網1日1隻30～40キロK当り600円8隻。アナゴ延縄1日1隻10キロK当り1,200円4隻。

**明石浦**　小型底曳網1日1隻メイタカレイ1～2キロK当り 2,000円，アマカレイ1～2キロK当り1,700円，エビ10～15キロK当り500円アナゴ2キロK当り600～700円，タコ5キロK当り700円，小メイタカレイ8～10キロ，K当り300～400円，30隻。タチウオ曳縄1日1隻100尾，1尾80～100円40隻。ハマチ曳縄50～60尾1尾200～250円40隻。サワラ曳縄1日1隻10尾内外目廻2キロK当り800～850円30隻。アジ一本釣1日1隻70～80尾1尾130円20隻。

**沼　島**　小型底曳網1日1隻小エビ20キロ，K当り400～450円，イボダイ15キロK当り220円，カマス10キロ内外K当り150円，キス2～3キロK当り350円，35隻タチウオ曳縄1日1隻50～100キロ21隻。ハマチ曳縄1日1隻10～15キロK当り340円50隻。エソ釣1日1隻50キロK当り100円10隻。ベラ釣1日1隻15キロK当り350円。チヌ延縄1日1隻40キロK当り900円。建網1日1隻ハゲ30キロK当り210円，クルマエビ1キロ内外，K当り3,200円27隻。

**福　良**　タチウオ曳縄1日1隻80～90キロK当り 210円120～130隻。タイ五智網キス20～30キロK当り550円，タイ2～3キロK当り2,200円5隻，サワラ曳縄1日1隻15キロK当り730円70～80隻。

**丸　山**　小型底曳網1日1隻エビ20～25キロK当り500円，カマス 30～40キロK当り50円，サヨリ40キロK当り150円，小イカ20キロK当り30円，アナゴ10キロK当り200円12隻。アナゴ延縄1日1隻20～30キロK当り450円，カサゴ20内外K当り600円，タイ五智網1日1隻30～40キロK当り2,200円4隻。

**五　色**　サワラ流し網1日1隻20～30尾K当り700円45隻。

## ◉本月の特記事項

月初めより秋サワラの好漁が目立っている。又本年のタチウオ漁は昨年に比べ大阪湾，播磨灘での漁期が短かく低調となった。

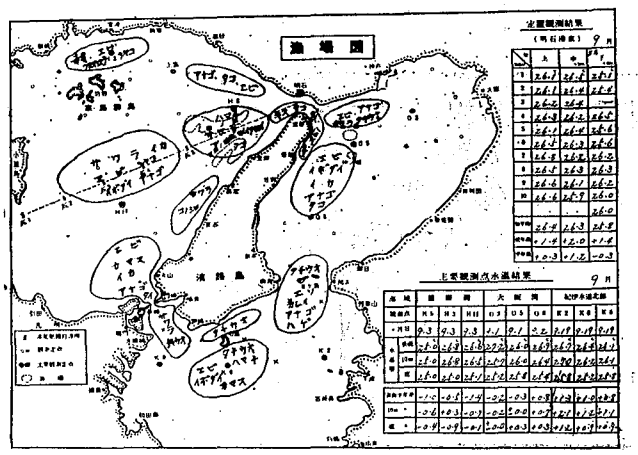
本年はタコ，アナゴ新仔の出現添加が低調のようであるが下旬頃よりキス刺網が好転した。

下旬よりノリ張込作業の準備に入った。

## ◉今後の見込

本年秋のサワラ回遊状況は現在のところかなり顕著で今後当才魚の成長と共に釣獲対象に添加され又内海滞留も11月中旬頃まで続く見込で引続き好潮には豊漁を期待出来そうである。現在不漁であるアナゴ，タコなども新仔の成長と共に好転する見込である。

（水試岩井）




## 養魚寸感

### (6)　海水の対流現象

秋季になると水温が気温より高くなる。その温度差が急であればある程，湾，入江などを仕切った養魚場では水質環境の変化が著るしく現われる。

この場合，表層水温が底層水温より低くなる。従って底層の海水は表層え，表層は底層えと海水が逆転する。即ち対流を起す。

養魚場の底層水は魚の排泄物，残餌等が変敗して有機物の発生が現われ，酸素量が低くなっている。対流現象が起これば養魚場では海水全体の酸素量が低下する。

従って，魚自体は酸素が必要であるし対流が起きて極端な場合，酸素不足となり養魚場の魚が一夜にして全滅することがある。

この顕著な例は42年9月中旬に或る養魚場で，水温の表底層が○・二℃となり，殆んど水温が表底一致し，酸素量は二・○～二・五cc/ℓ，酸素飽和度は40～50%の値になった。

この場合養魚場は酸素不足で斃死寸前の状態に置かれたことがあった。この場合は本県での顕著に現われた例である。

対流現象も魚の放養密度と密接な関係がある。今年の様に放養密度が比較的低い場合にはこの危険性は少ないだろう。

しかし，対流現象は必ず現われるが顕著に現われれば魚が斃死しなくても衰弱がひどくなり，他の病気にかかり易くなり，魚の摂餌状況を充分観察して欲しい。

（水試片嶋）

# 瀬戸内海水産開発協議会

## 「船舶安全法の一部改正に関する検討会」開催さる。

9-29

瀬戸内海関係十二府県で構成する瀬戸内海水産開発協議会の通常総会が神戸市（市民生活協同組合会館）において開催された。

議事終了後，予ねてから運輸省において二〇トン未満の小型漁船に対し船舶安全法の一部改正を企図し，運輸技術審議会船舶部会小型船舶安全小委員会で「小型船舶の堪航性の確保に関する対策について」の審議に関連して同協議会は水産庁より小島漁船課長を迎へて，これまでの経緯を聞くと同時に「船舶安全法の一部改正について」の検討会を開催し，協議の結果全会一致左記特別決議を採択した。

（要旨）運輸省においては総トン数二〇トン未満の零細な小型漁船に対してもすべて，船舶安全法の適用を行なうため，同法の一部改正を意図しているとのことであるが，このことは我々漁民の意志を無視して従らに実状に即さない無用な設備義務を強制せんとするものであり，到底承服致し難くここに断固反対することを決議する。

(一)　小型漁船の安全対策については，漁業者自らが自らの生命にかかわる問題として常に重大な関心をもって操業にあたっているところであり，漁民の安全にかかる事故率は極めて少ない。

特に瀬戸内海においては，漁場の陸岸との距離も近く，相互に連絡をとりつつ操業しており過去において船体，設備の不備に起因する事故は殆んど皆無に等しい。

従って現在法律の一部改正により設備強制まで行なう必要は毛頭認められない。

(二)　また最近における漁船の事故傾向は，船舶安全法の適用を受けない小型漁船の事故率が逐年，更に減少傾向を示しているに対して同法の適用を受ける大型漁船の事故率は却って増加傾向を示しており，このことによっても従らに同法の適用範囲の拡大を図ることを無意味さが明らかである。

(三)　以上の実態にもかかわらず「小型漁船の海難が全海難の四〇パーセント」という極めて不可解な論拠をもって我々小型漁船にまで設備義務を強制せんとする運輸省の意図は到底容認し難い。

国は先づ上記四〇パーセントの論拠並びに上記事実の原因を明らかにして，これを関係者に説明するほか，小型漁船の実態を調査した上，その実態に即した安全指導を図るべきであり，徒らに一方的な義務強制，強権発動はさけるべきである。

(四)　むしろ現在我々小型漁船の海難事故の絶滅を図るためには，設備のみよりも，むしろ運航技術の普及指導等，総合的な施策が必要であり，かかる総合的施策もなくただ設備のみを権力で押しつけて足れりとする意識は排除されなければならない。

(五)　我々は法改正の結果，予想される受検義務とその経費負担取締機関による臨検等のはんざ，負担には到底堪えられない。

国はむしろこの際，漁船行政の一元化を行ない，水産庁の責任において漁業者の指導にあたるよう配慮すべきである。

昭和四十五年九月二十九日　瀬戸内海水産開発協議会


神戸赤ディーゼル　（使う身になって作る赤機械）

堅牢！
高出力！
経済的！

・N623RS350PS・
（低速機，全長3.9米）

▶船用主機関◀
・低速4サイクルディーゼル 240～1,600馬力
・中速ディーゼル 650・700・1,300馬力
・三菱2サイクルディーゼル 1,500～8,200馬力
各種

神戸発動機株式会社
本社及工場　神戸市兵庫区須佐野通8丁目10　TEL (078) ㊷5031～6
支店及出張所　長崎（工場及支店）東京，下関，北海道，仙台，今治

# 千葉県漁連ノリ事業所を視察して

八月末の暑い夏のひるさがり、内海漁連のノリ共販事業推進委員一行十三名は千葉市のはづれにある千葉県漁連のノリ事業所を訪れた。それは広々とした理立地の一角に近代的な白い鉄筋コンクリート二階建の建物であった。

当日は、あいにく入札日に当っていなかったので、入札風景はみられなかったが、仲買人控室で腰まで沈むような椅子に座って小高所長さんに事業所の内容についての話をきいた。

一、施設

敷地面積、六六九〇㎡
建物、鉄筋コンクリート二階建
保管施設　三〇〇〇㎡
貯蔵倉庫
低温倉庫　四〇〇〇㎡
加工製品倉庫　一〇〇㎡
加工施設
火入施設　三八台日産能力　一、〇一〇千枚
焼加工施設七台　〃　三〇〇千枚

建設事業費　三三六、〇七一千円
設立年月　昭和四十五年五月

千葉県のノリ養殖業の歴史は古いが、漁連の一元集荷による共販態勢が軌道にのり出したのはごく最近のことである。この火入れ、保管施設の建設に当って、ノリを作っていない地区からの反対もあったが、生産者側の強い要望によって出来たものである。採算性を充分見込んで、農林中金の借入金のみで建設した。

入札は漁期中週二回、火入れ後の囲いノリについては月に八回実施している。ここの入札の特色は押ボタン式による電光掲示板を使っていることである。この方法によると同札入札がない。また生産者も、問屋も氏名の代りに全部番号制となっている。入札時の製品見本は十枚単位の入札にする。十枚単位の入札にすると金額が三桁か二桁になるので四桁にくらべて事務の合理化につながっている。

共販所の向いの棟に火入装置、味付加工場等がある。加工場は冷暖房完備の流れ作業方式となっており女工員さん達は白の作業服白い帽子をかぶっている。いかにも衛生的で近代的な食品工場といった雰囲気を作り出している。加工原料は業者からの委託品を扱っており、操業は周年行なわれている。現在委託加工の収入が月に一千万円もあり最近では加工業がこの事業所の本業みたいになっている。

梅雨をもちこせないのがノリ生産者にとって一番の弱点であり、売り急ぐ原因だから、火入施設と低温保管倉庫は一体のものとしてもつべきである。また加工場を年間操業するためにも冷蔵庫は是非とも必要になってくる。冷蔵庫の運営経費が増加しても、生産者の儲けにつながるのだからその経費は生産者負担にするという自覚が是非とも必要である。

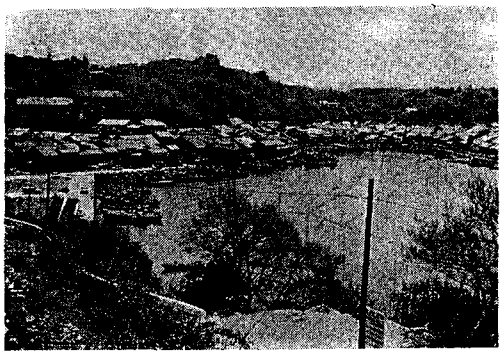
ここの事業所の特色は、火入れしたもの、または加工した品物を業者の店先まで届けてやることである。年中ノリばかり扱っている職員（専門家）が責任をもって保管してくれ、注文に応じて一ケースでも二ケースでも届けている。そのため日通とは年間契約を結んでいる。それだけに他の一般倉庫よりいくらか保管料は高いけれども業者には信用があるとのことだ。

年中ノリばかり扱っていると、ノリ流通の状況がよくわかり新ノリに対する経営指針が得られると所長さんは自信のほどを示してくださった。

（水産加工係外山）

# 防波堤建設の進む

## 室津漁港（第2種兵庫県）



室津漁港

本港は瀬戸内海播磨灘に面する播磨地方西部における沿岸漁業の中心港で背後姫路市には、市場もあるため流通機能の整備が進めば一大流通拠点となる要素を有している。この港における整備は昭和三十八年より修築事業として着手し、第三次整備計画として、昭和四十三年迄に南防波堤、舟揚場、物揚場、道路及北防波堤の諸施設に着手したが舟揚場三〇m物揚場六八・五m、道路一四八mが昭和四十三年までの第三次整備計画において完了を見た。

しかし、漁港の最大の基本施設である南防波堤においては当港の軟弱な海底地盤になやまされ基礎工事については置換工法を取って事業を進めたため、僅かに上部としては十八mのみの完成にとどまった。昭和四十三年より第四次整備事業に移行し改修工事として更に整備を進めることになり昭和四十四年度には南防波堤は四十三年施工の上部工と合せて七九mが完成し昭和四十五年を以って、全長一三〇mの防波堤が完了する予定である。これと併行して北防波は現在基礎工施工中の段階であるが南防波堤に比べて地盤状況も若干良好な為、四十六年に全完成を目ざして工事を進渉中である。又海岸保全事業としては昭和四十一年度より高潮より背後を防護するため護岸補強嵩上げを実施中であるが漁港としての機能を保持するためと地盤条件を考慮して桟橋式の護岸を引続き実施中で昭和四十六年度において特に人家連担区間で、しかも在来地盤の低い箇所は整備を完了する予定である。この海岸保全施設の整備箇所も海底地盤が軟弱でしかも一部岩盤の隆起している箇所があるため前記の桟橋式と一部L型式を併用している。従って本漁港は四十六年度がピークで四十六年度末には従来と一新した漁港の姿が実現することを期待している。

**海岸5ケ年計画**（45～49年）

| 施設名 | 全体計画 | 金額（千円） |
|---|---|---|
| 護岸、堤防 | 護岸206m堤防230m | 101,200 |
| 胸壁 | 胸壁工　96m | 800 |
| 計 | | 102,000 |

**第4次整備計画**（44～48年）

| 施設名 | 全体計画 | 金額（千円） |
|---|---|---|
| 外かく施設 | 南防波堤 112m<br>北防波堤 70m | 68,700 |
| けい留施設 | 舟揚場　90m | 15,000 |
| 計 | | 83,700 |

# 水産課人事移動のお知らせ

本年十月に次のとおり発令がありましたのでお知らせします。

| 月日付 | 氏名 | 旧所属 | 新所属 |
|---|---|---|---|
| 10月1日付 | 笹野正人 | 水産課経営係主査 | 生活部、水質騒音対策課主査 |

# 塩素量

海水1キログラムの中に含まれている塩素臭素、および沃素の全部の量をグラムで表わしたものを塩素量といっている。ただしこのうち臭素と沃素は塩素におきかえられているものであると、国際海洋物理学委員会で1902年に定められたものである。

塩素量をあらすのは千分率（記号で‰と書きプロミルと読む）を使用する。たとえばcℓ19.38‰といえば海水1キログラムの中に19.38グラムの塩素量があることを示している。

もちろんこの塩素として表わされたものの中には前述のとおり臭素、および沃素がそれに相当する塩素として含まれ示されている。塩素量の測定は普通塩分検定（略して塩検）といわれ海洋調査のもっとも基本的なもので、国際海洋学委員会でその方式を定めどこの国で行なった測定結果も同一の精度で比較できるようにしてある。（管）

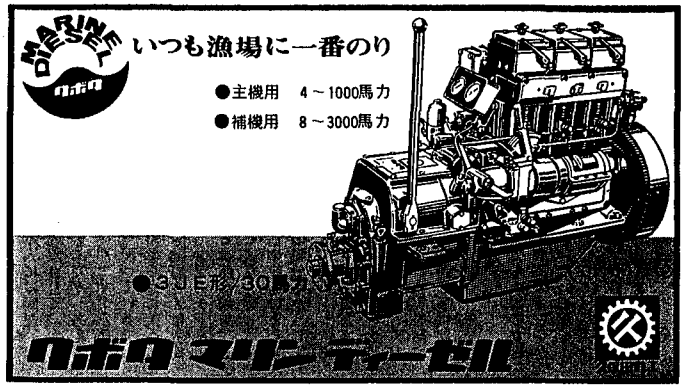
# 故川野正道氏の死を悼む

県水産試験場主任研究員川野正道氏が去る九月二十日、魚住の仁十病院で急逝されました。

氏は本県水産加工の研究に専念され、その功績は高く評価されていたところであります。それが九月に入って突然病魔に倒れられ、加療の間もなく、享年四十一才の若さをもってこの世を去られました。本県水産界から見ましてもまことに惜しい人を亡くしたと痛感させられる次第であります。

遺族には氏の母堂と奥様、それに小学校二年、幼稚園に通う二人が残されました。まことにお気の毒な極みというほかありません。

茲に氏のご冥福をお祈りするとともに、慎しんで哀悼の意を表します。


海苔業界にご奉仕する

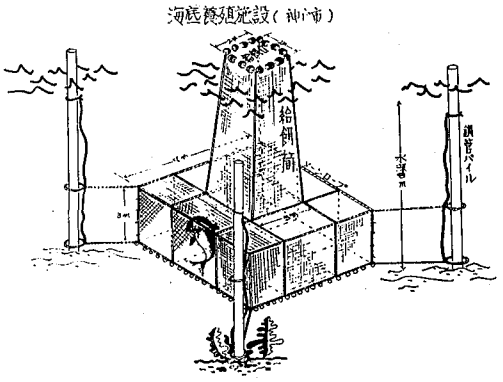
のりスキ機のトップメーカー
自動 デヅカ式 海苔スキ機

性能で勝負する乾燥機メーカー
自動 大曲式 海苔乾燥機

発売元 三洋商事株式會社
明石出張所　明石市船上字皆添415－1　電話(078) 911－6210
岡山支店　岡山市下中野36-0　電話岡山（0862）41－6211番（大代）　高松出張所　高松市井口町1丁目2番地　電話高松(0878)21－3969番
福山出張所　福山市光南町1丁目10番17号　電話福山(0849)21－2470番　新居浜出張所　新居浜市庄内4の221番地　電話新居浜(08972)32－3878番

# 魚類の海底養殖施設
## 神戸市垂水沖で実験開始

海底養殖施設（神戸市）




つくる漁業は、いま色々な形で進められている。これには自然繁殖と生育を促す培養漁場造成、養殖、栽培漁業などがあげられるが、ことに最近では、ノリを中心とする養殖業の発展がめざましい。

神戸市西部の垂水沖ではノリの次に行なう養殖をいまから研究しようというねらいで、昨年造成した鋼管ノリ漁場を利用して、魚類の海底養殖試験を本年度から開始している。

この施設の構造は大体図示のとおり、防汚染料で処理した箱網（四五本一八節）を鋼管に取付け、風波の影響が少ない海底に設置したもので、今後は風波や潮流に対する網成りや施設の保全性を調べる。

また、これに入れる魚種にはマダイ稚魚をとりあげているが、酒量サイズになるまで三年かかるので、越冬の可能性もあわせて試験することにしている。

この事業の分担は、施設は市が調達し、その管理と運営は神戸市西部漁協が担当する。

さる十月上旬研究会員の手によって設置された後、潜水夫により良好な設置状態が確認された。

現在、県下で行なわれているかん水養魚はハマチ養殖のみで、その場所も殆んど風波の影響が少ない沿岸であるが、海洋開発の呼び声と共に、今後、広大な沖合漁場における養殖技術開発の必要性は大きい。

このような点から、将来国民的要求度の高い中高級魚の増産を進めるうえに、この海底養殖試験の成果が大いに期待される。

# 「魚のたわごと」

私は内海で生れ、ここで育って一生をすごさないとほかに行くことのできない魚です。母が先祖から伝え聞いている話では、この海は餌が多く、いたる所に藻場もあり、海底は変化があって、成長するにつれ自分が生活するのに都合のよい環境の海だったとのことです。従って私の仲間も非常に沢山成育し、大きな群を作って生活していたようです。

ところが今私がやっと一人前に泳ぎ回って体験し、また少ない仲間に出合って話をきいてみると相当様子は異なっているようだ。

何でも大きな川が流れ込んでいる近くへ行くと食べたい餌も充分あって、藻場もあり、一人前になる場所としては申分のない所だときいていたので、腹をすかせて行ってみた。すると、どうしたことか川はあれども藻場はなし、餌もあるにはあるが好きなものは非常に少なくなっている。よくみると祖先が泳ぎ回り餌をとり育って来た海はどうや埋立とかによって陸地になり立派な工場ができているようだ。これでは仕方がないのでどこか他のよい所を自分で探して行かなければと思案していると仲間がしゃべりながら泳いでやって来た。聞くともなしに聞いてみるとこんなことだった。

「わし等の住むところもえろう汚れて、このままでは暮らせんようになってきたな」

「うん。そうや。人間様は海や川をごみ捨て場か、便所ぐらいにしか考えてない者が多いようやからな」

「そりゃ昔のようにごみや工場から出す水が少ない時はわしらの住んでいる海で海藻まって汚れるほどではなかったが、近頃は量も多いし、化学工業とやらが発達して、出される水も以前とちがって濃くなってるらしいが捨てることについては以前と同じように思っているからだろう」

「全たく困ったもんだ。人間様も海水浴場も少なくなり困るだろうが。」

「うん。それで聞くところによるとこの頃はこの問題が大きくなり、海をきれいにする運動とか、公害防止の法律などもきめられ、近いうちに海の環境基準も定められるらしいから、少しはよくなるのではないかと思うがな」

「しかし今までの状況をみているとそう簡単にはよくなりそうだとは思われないで。」

「なかなか急にはよくならないけど水産関係の人が積極的に培養型魚礁と云ってわしらの成育に適するような場所を新らしく造ってくれるような話も出ておるから期待しておこうやないか」

「そうだな。なるべく早く多くの場所に造ってくれるよう努力してほしいな」

「それで思い出したが淡路の方に保護水面と云って住みよい場所が造ってあり他の仲間が相当おるらしいからこれから行くことにしよう」「うん。では出かけよう」

と仲間は連れ立って泳いで行きだした。私もおくれならじと、仲間の後をおっかけていった。

（H・S）

# 兵庫県漁協婦人部
## ブロック講習会終る

県漁協婦人部では本年の活動のテーマとして「健康管理」を取り上げているが、このたびの講習会もそれに因んで県でも重要施策になっている「不幸な子供の生れない施策」についての講習会が次のように摂津、播磨、但馬の三地区で開催されました。

各地区とも熱心な婦人方が多数参加され盛況の裡に終った次第です。

| 講習内容 | 期日及び場所 |
|---|---|
| 「不幸な子供が生れない対策について」 | 摂播地区　九月十九日　姫路市　護国会館 |
| 県衛生部　橋本室長 | 淡路地区　九月四日　洲本市　県職員会館 |
| 映画「母子健康手帳」他一本 | 但馬地区　九月九日　香住町　但馬漁業センター |

（付記）

年内婦人部行事予定

◎十月二十九、三十日　県漁協婦人部幹部研修会（於山良成山荘）

◎十一月下旬　県婦人部大会（於水産会館）

◎十二月中旬　先進地視察（和歌山県白浜漁協婦人部）

# 潮風廿四光
## (8) 池野さん

社長とは何ですか？

「社員の顔だと思う」

こうおっしゃるのはリッカーミシンの新社長さん。

なるほど

そこでぼくなりに、表現のしかたこそ適当ではないが、水産会館の顔は池野さんといいたい。

水産会館が漁民のメッカとして四明を睥睨してからはやくも十六年になるという。

その長い発展の歴史を池野さんの顔は、はっきり証明なさっている。

忘年会などおなじみの客も多くアシスタントの定着率も案外よかったというのは、これひとえに池野さんの人徳のなせる業

海のものとも山のものともつかぬ当初の不安も年と収入がふえ、業績が上って初めの心配がたちどころに解消されたのが一番うれしかったという

「叱られた時、こわかったが納得できた」

或る従業員の述懐からも池野さんの人となりがうかがえてほほえましい。

だが、自由な時間がないのと、病気になった時がつらかったとしみじみおっしゃる。

そんなつらい時の気も知らず、振舞う宿泊人の取扱に、ほとほと閉口されたことも一ぺんや二へんではなかったろう。

世のご婦人の中には涙のヒロインであった昔をほこらしげに語りたがるむきもあるやに承るが、池野さんは過去のかなしみやつらさには振りむかぬように努めているという。

出来そうでいて、なかなかできることではない。

こんなように心のチャンネルの切換えが、容易にできる人間にぼくもなりたい。

「声が大きいほどで、人にはとけこめやすい性質で、私は楽天家」

ともおっしゃるが、なんのなんの。

そして

これから楽隠居の身であっても、一人静かに暮らしたいと話す池野さんへ、故郷は？と問いかけると、

わたし故郷がないんです。日本人には間違いないがと前置きして、大陸生れなもんで!!　あえて言えば神戸です。水産会館なの。変っているでしょうとおおらかに笑う。

だから池野さんは故郷であり、フランチャイズでもある水産会館を、誰よりもこよなく愛し、雨の日も雪の夜もいとわずに自分の職分を全うしてこられた。

何によらず「裏方さん」の見えぬ努力。いわゆる緑の下の力が大きく左右して、花咲き実を結ぶ事実をみのがしてはならない。

池野さん。

いつまでも太陽の女神として、漁民のまどやかな一夜のいこいの場をエンジョイしてほしい。

それが、兵庫水産の繁栄におおきくプラスするものなれば。

（45・9・28朝）

Z－3型
待望の魚探機誕生
貴様の大漁を御約束する
小型から中型までの万能魚探
MODEL－Z－31A.B.C.D
Z－32A.B.C.
二周波魚探も出来ます
海上電機株式会社
本社　神戸営業所　東京都千代田区神田錦町32　電話294－7611
神戸市田区明石町32　電話391－4301

養魚の調餌と造粒は
コウベヒラガのミートチヨッパーで
養魚用ミートチヨッパーNo.32からNo.72まで各種製作しています。又最近の人工餌料需要の増加にともない生魚と人工餌料をよく練り合せ造粒装置付チヨッパーで給餌することもできます。
（御一報次第カタログ贈呈いたします）
ミートチヨッパーとプレート，ナイフの専門工場
株式会社 平賀工作所　神戸市長田区水笠通3丁目8　TEL 代表神戸(078)62－1527

YANMAR DIESEL ENGINE
● 漁場と市場を結ぶ！
〈新製品〉
●PM形／3馬力～4馬力
●船舶主機用　3～800馬力
ヤンマーディーゼル
●T形／10馬力～20馬力
ヤンマーディーゼル株式会社／〈本社〉大阪市北区茶屋町62番地